

児童養護施設等の若者への就労支援 から考える日本の若者の就労課題

株式会社フェアスタート
NPO法人フェアスタートサポート
代表 永岡鉄平

自己紹介

< 永岡鉄平(ながおかてっぺい) >

1981年2月23日 横浜生まれ 33歳

2004年 明治学院大学 経済学部 卒業

2004年 株式会社リクルートHRマーケティング(現リクルートジョブズ)入社

2006年 株式会社アカリクの立ち上げに参画

2011年 株式会社フェアスタート設立 代表取締役就任(現任)

2013年 NPO法人フェアスタートサポート設立 代表理事就任(現任)

< 受賞歴 >

2010年9月 第1回社会起業プランコンテスト(内閣府地域社会雇用創造事業) 最優秀賞

2014年2月 キララ賞受賞(かながわ若者生き生き大賞)

< その他 >

横浜YMCA 常議員(2013年~)

神奈川県中小企業家同友会 横浜支部役員(2013年~)

明治学院同窓会評議員(2014年~)



フェアスタートが対峙する社会的課題

日本の若年層において起こっている

貧困の連鎖

これを「就労支援」という領域で解決したい

なぜこの事業をはじめたのか

児童養護施設等の退所者が高い確率で
ワーキングプアとなっている現実

これが日本社会にとって
大きな社会損失
となっていると確信したから

サラリーマン時代の経験から 生まれた想い

・中小企業

若手が採用できなくて困っている
やる気のある素直な人材が減ったという嘆き
少子化に対する危機感増大

・現代の大学生

働くことから遠ざかる若者の増加(モラトリアム依存)
大手思考により中小企業を下に見てしまう傾向

これをこのまま放置していたら、中小企業の多くが人材不足で疲弊
大学卒業者におけるニート、ひきこもり、フリーター人口の増加

結果、税収の低下

児童養護施設等の若者たちは、
この課題を解決してくれる救世主である

施設出身者の魅力

- ・ 集団生活という環境で育ってきたこと
 協調性、コミュニケーション能力の素養
- ・ 高校時代から既にアルバイト経験が豊富であること
 ある程度の社会性の素養、早期離職の不安の軽減
- ・ 企業規模にこだわりのないスタンス
 可愛い、愛社精神への期待
- ・ 親のスネをかじれない、自立しなければならない
 甘えられない背景、ハングリーさを持っているのでは？

施設出身者の魅力

生きていくために、働くことが当たり前 という価値観

今の一般家庭の若者の多くは、この価値観が欠如してきています。
こんな当たりの価値観が、今は武器になる時代になりました。

彼・彼女たちは、企業が採用して育ててみたい
と思える要素をたくさん持っている

基本支援スタンスは、非福祉

「かわいそう」ではなく「もったいない」

本人自身にむずかしさがあるのではない、
本人を取り巻いてきた環境が機会不十分であった。

子どもや若者の持つ可能性は無限である
環境次第で人はいくらでも伸びる

この価値観がフェアスタートの基本スタンスです。



根深い課題構造について

- いったい何が起きているのか -

2008年度に高等学校等を卒業した児童養護施設の児童

	大学	短大	高専	専修	職業 訓練	就職	実習 訓練	定職 なし	不明	合計
在籍 児童	18	3	3	19	1	158	35			237
退所 児童	77	43	10	75	11	910		65	2	1193
	95	46	13	94	12	1068	35	65	2	1430
%	6.6	3.2	0.9	6.6	0.8	74.7	2.4	4.5	0.1	100
進学 部	10.8									
	18.2%					81.8%				

平成21年度 学校基本調査より

日本全国約600の施設における措置児童約30,000人の中で、毎年約1,500人が施設を退所。うち、約8割が就職を選択する。

就職後の現実

2011年に行われた東京都の調査では、

施設退所後の非正規雇用の割合が

男性 約4割

女性 約6割

上記調査は、回答者が1778人中673人と4割に満たず、生活が安定しているの方がアンケート回収率が良いと想定されることから、実際はこれ以上に非正規雇用率が高いと予想されます。

フェアスタートの体感値

男女ともに約7割以上が非正規以下

非正規以下に落ちる構造

高校の高卒求人で就職活動、そして内定、入社

最初の就職先を離職

非正規以下状態に陥る

< の理由 >

- ・離職後、正社員としての転職のやり方がわからない
- ・アルバイトに就くやり方はなんとなくわかる
- ・最初の就職先でダメージを受け、正社員が嫌になる
- ・寂しさなどから、水商売等の誘惑に負けやすくなる
- ・住み込み就職だと、離職後ホームレスを避けるために住み込みなら何でもいから仕事に就いてしまう 等

非正規以下に落ちる構造

高校の高卒求人で就職活動、そして内定、入社

最初の就職先を離職 **なぜ辞めてしまうのか**

<理由>

- ・やりたい仕事本人在中で明確化せず、表面的に就職している
- ・やりたい仕事よりも住み込み就職などの条件を優先し、結果的に就労環境が劣悪な企業へ就職している可能性が高い
- ・施設退所後、人とのつながりが希薄になるので寂しさなどから、ここぞというときの踏ん張りがききにくい
- ・そもそも18歳という年齢自体が若すぎる 等

施設以外の高校生と比較

新規高卒者 卒業後3年以内の離職率
(厚労省統計、平成22年入社)

・従業員5人未満の企業への就職者
66.6%

・従業員5人～29人の企業への就職者
57.3%

・従業員30人～99人の企業への就職者
47.4%

何も施設の若者達が辞めやすいわけではない。

18歳という若さで正規就労し継続すること自体、今の日本社会ではハードルの高いことなのかもしれない。

非正規以下に落ちる構造

高校の高卒求人で就職活動、そして内定、入社

商業高校、工業高校 伝統的な積み重ねにより優良企業の推薦枠を確保している

普通高校、定時制、通信制、クリエイティブスクール、サポート校など
一般公開のハローワーク高卒求人で就職活動

進学率の高騰も影響してか、全体的に高校の就職支援力が低下
マッチングを意識しない表面的な就職支援によりミスマッチが多発

もはや、一部の高校を除き、高校での就職支援が
結果的に破たんしていると言っても仕方がない現状。

もったいないすれ違い

大手企業の情報
しか収集できない
大学生

応募しない。
応募してもミスマッチ多発
動機不純など

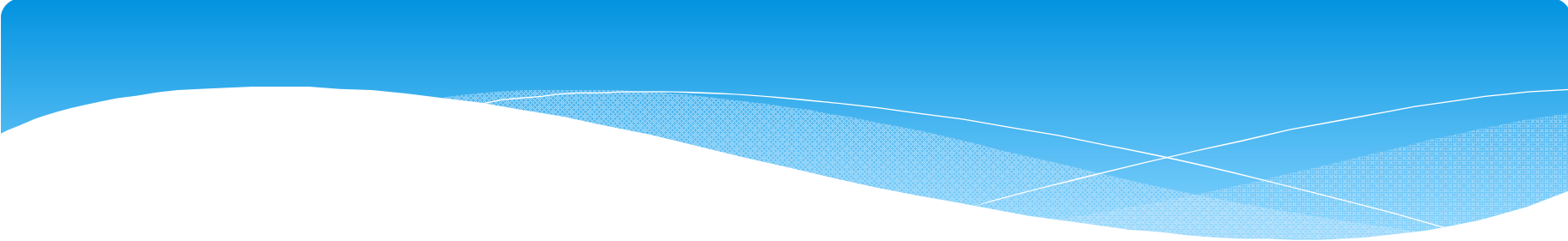
中小企業
学歴もスキルもない！
やる気だけ持ってきて
くれば育てます！
若者が欲しい！

養護施設等をはじめ
とした、18歳で
自立する宿命を
おった若者達

もったいない！

住み込み就職
可能な仕事
現場系仕事

なぜかここばかりに偏る



ワーキングプアになってしまうのは

本人達の問題？

否

構造的な問題が大きい。
高卒就職がマイリティになっている昨今の時代背景や、
身寄りがないことで抱える「足かせ」
が本人達の社会人としての歩みを妨害する



課題解決に必要な3大要素

就労教育

企業

好循環を作り出す
ための先輩後輩の
仲間作り

前向きな好循環を作り出す ための3つの事業

成長の機会

入所中支援

社会が必要とする
人材へ育てるための
キャリア教育の提供



NPO法人フェアスタートサポート

就職の機会

退所時支援

就職の仲人



株式会社フェアスタート

仲間作りの機会

退所後支援

・個別相談支援
・イベントなどを通じた
仲間作りの機会提供



NPO法人フェアスタートサポート

施設入所中から退所後まで、一気通貫型の就労支援を行っています。

実績を作り、冊子「エール」を用いて、成功事例を日本全国の施設へ広報。
施設入所中の子ども達が、その実績を見て、夢や希望を持ってもらえるような
仕組み作りも同時並行で行っています。

キャリア教育支援

施設を巣立つ際の就職先を、
自分の意志で「自己決定」できるようになって欲しい。
これが、フェアスタートのキャリア教育の考え方です。



社会見学ツアー

就労体験



パソコン教室

就職相談、就職仲人

ひとりひとりの要望に合わせて、就労体験、会社見学などを組み合わせ、独自に収集した「人材を育てる」ことに熱心な企業の求人を紹介しています。
もちろん就職した後もサポート。
企業と施設と両方と連絡を取りながら、本人の社会人生活を支えます。

就職あっせん実績 35人

就職相談件数120件以上



就労支援実績

2011年4月～現在

就職あっせん実績

・・・35名

ITエンジニア8名、製造業7名、旅館(フロント、板前、番頭)3名、
営業職5名、飲食店1名、お菓子製造1名、高齢者福祉職3名、
建設業3名、真珠販売会社1名、理美容業1名、調理職1名、
産業廃棄物処理会社1名

就職相談支援実績

・・・127名

イベント・セミナーなどを通じた支援

・・・306名

アフターフォロー

退所後は一人暮らしと仕事のダブルパンチに一気に襲われてしまいます。
施設退所者が退所後に困る事ナンバーワンは「孤独感」
社会人ボランティアや同じ退所者の仲間たちと定期的に遊びに行ったり
食事にでかけたり、悩みがある時には個人的に相談したり。
「つながる」ことで社会での施設退所者の孤立をふせぎます。

コミュニティ、仲間という形の居場所づくりの提供

年間オフィシャルイベント7回を計画 その他個人的プチイベント多数



支援施設数

< 神奈川 >

21施設(シェア70%)

< 東京 >

27施設(シェア40%)

< 千葉 >

2施設

< 埼玉 >

2施設

< 岡山 >

1施設

カウント対象は、具体的に特定の入所者・退所者への支援実績がある児童養護施設、自立援助ホーム、児童自立支援施設、ファミリーホーム、シェルター

計53施設

フェアスタートの理念 ビジョン

< 理念 >

「次世代を担う子ども達・若者達の可能性を信じ、
社会へ出るための公平な機会を創り出す。」

< ビジョン >

うまれた環境や育った環境に依存せず、
若者達が公平なスタートラインから社会へ巣立てる社会の実現。

最後に

是非、フェアスタートの活動に関わって下さると嬉しいです。

- ・ 賛助会員として
- ・ ボランティアとして
- ・ 口コミ広報役として

皆様と一緒に、若者達が貧困の連鎖を断ち切れるロールモデルを作り、もったいない若者を一人でも多く減らしていきたいです。

応援宜しくお願いします。

お問い合わせ

株式会社フェアスタート
NPO法人フェアスタートサポート

< 本社 >

〒231-0003

神奈川県横浜市中区北仲通3-33

関内フューチャーセンター214

< 関内オフィス >

〒231-0028

神奈川県横浜市中区翁町2-8-5

第一東里ビル306

TEL: 045-319-4675 FAX: 045-319-4676

E-mail: info@fair-start.co.jp

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。